

## 「音読のすすめ」

一十分に「理解」した内容は、何十回、何百回も繰り返し音読して  
スミからスミまで覚え、学力の向上に結びつけようー

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今日は「音読の大切さ」についてお話をさせていただきます。音読というのは声を出して読むことです。「読む」ことはどの教科にも共通する一番大事な勉強の仕方の一つです。さて、この「読む」ことには、黙読(声を出さないで読む読み方)と、音読(声を出して読む読み方)があります。今日お話しする「音読」、声を出して読むとどのような力がつくのでしょうか。1つ1つの文章の内容を理解することができます。また、音読している文章全体としてどのようなことを伝えたいのかを判断することができます。読みながら、書いてある内容を記憶する・覚えることもできます。集中力もつきます。このように、音読をすることで文章の中身・内容を理解することができ、記憶することもでき、集中する力もつくとは考えます。これらのことができるようになるほかにも、音読をしている教科や内容に興味・関心・意欲が出たり、また、ほかの人の音読を聞くことによって聞く力も養われて学校の成績が向上したりして、最終的には学力の向上に繋(つな)がると思います。
3. 先ほど、音読することで理解が深まるというお話をしましたが、声を出して文章を読む、つまり音読をすると、声を出さないで読む黙読に比べて読む速さは少し遅くなりますが、読むときの読み込みの力・読みの理解力については音読のほうがぐっと深まると思います。読むことによって理解する力は、音読のほうが深まるのではないかと私は思います。また、音読を繰り返すことでだんだん速く読むことにも慣れて、感情を込めて読むこともできるようになります。ですから、学校の国語の教科書だけではなく、できれば、すべての教科の教科書の内容についても、音読をすることで理解が深まりますのでやっていただきたいと思います。だんだん読むことに慣れていただいて、内容を感情を込めて読むことも大事です。また、自分の好きな本や教科書を音読をすることが一番大事なかなと思います。
4. 音読の仕方については、ただ読んでいるだけではちょっと物足りないと思います。文章は意味で分かれていますので、内容を考えて読まないで文章をどこで切ってよいのかがわからずに、ひたすら字を音にするという作業を続けることになってしまいます。ですから、内容を考えながら読んでいただいたり、意味のまとまりで息を継いだりすることも大事かと思えます。また、上手く読もうと思わないでできるだけ素直に読むほうがよいと思います。音読をするとどうしても上手く読んでやろうと思いがちですが、その文章が伝えようとしている意味や内容がわかることが大事ですので、

できるだけ素直に、上手く読もうと思わないで訥々(とつとつ)とでもよいですから、ぜひゆっくりと読んでください。それから、力まずにゆっくりと読むことも大事です。一行目から力を入れて大きな声で読んでしまうこともよくありますし、私もそうになってしまうのですが、つい早口になってしまうこともあると思います。ですから、初めは小さな声でゆっくりゆっくりと読むとよいと思います。音読をするときには一人で読んでもよいのですが、せっかくなお読みになるのであればお家の人に聞いてもらう・友達にも聞いてもらうというようなことも素晴らしいと思います。特に、おじいちゃんやおばあちゃんがいらっしゃったら、時々聞いてもらうととても喜ばれますよ。意味を伝えるという読み方はとても大切なことで、伝えたいという気持ちが読むことに込められますと、まずは自分が内容を理解しなければならないという思いが前向きにでてきます。ですから、人に聞いていただきたいと思いながらまずは自分で練習をして、それから色々な方に聞いていただくことも大事なかなと思います。やり方を工夫して音読をしていただければと思います。

5. 音読をする対象は何かといいますと、私が一番お勧めするのは、今、学校では小学生は単元のテスト、中学生や高校生は一学期の定期テストが行われていると思いますので、できればそれらの科目、英語や数学、小学生、中学生、高校生でしたら算数・数学、理科、社会、国語、美術、技術家庭、音楽、保健体育、それにコンピュータなどすべての科目の教科書や資料をゆっくり、ゆっくりと音読するとよいと思います。その次は、学校の授業中に取ったノートの音読です。どのくらいになるまで音読練習をしたらよいかといいますと、私はスラスラスラ読めるようになるまで読む練習をしたら素晴らしいと思います。特に英語は、音読練習をしてスラスラスラ英語の教科書が読めるくらいになりますと、テストで8割ぐらいの点数が取れると思います。
6. 各教科の資料集や問題集も音読すると驚くほど覚えられます。また、模擬テストの問題も是非音読してみてください。先生方が一所懸命に作成したテスト問題の文章も素晴らしいものばかりです。英検などの検定試験での問題集、参考書も音読しましょう。
7. 音読すべきものは、教科書など教科に関するものに限りません。今、読んでいる「本」や「新聞」、「雑誌記事」など文字として書かれているものをどンドン声を出して読んでみることを私はお勧めします。ちょっと変わっているかもしれませんが、私は街に出ると「カンバン」を読むのが好きです。
8. 最後になりますが、音読練習をしたあとでよく書けない単語やことばがありましたら、書く練習をするとよいですね。また、意味がわからないことばや語句がありましたら、辞書で意味を調べることも大切です。音読練習をしたあとで書き取り練習をする、意味のわからないことばがあれば辞書でよく調べる、調べたことはノートに書いておく、このようにするとことばの数・語彙が飛躍的に増えますので、学力向上に直結します。学力はことばの数で決まりますよ。
9. 今日は、勉強の仕方の一つである「音読」について皆さんと一緒に考えてみました。明日から7月に入りますが、体調を壊さないようにして勉強や部活動に励んでください。中学3年生の皆さんは部活動が大事ですので、ぜひ頑張ってください。